

伝統の職人技をよみがえらせた ラジャスタンレザーバッグ

■ ■ ■ What about Leather?

ラジャスタンレザーバッグはインド北西部の村で、伝統的な道具と地域で採れる天然の材料を使って、丹念に作られます。

職人たちは自然死した動物からのみ皮を集め、製品の部位や用途によって牛、バッファロー、ラクダ、ヤギの皮を使い分けています。それぞれの皮は、色、厚さ、きめが異なるにもかかわらず、完成した革は的確になめされ、耐久性に優れた製品に仕上げられています。

■ ■ ■ What about Producers?

300年以上の歴史を誇るインドのラジャスタンレザーは、ヒンズー教の最下層カーストに属する革職人によって作られてきました。

彼らは皮なめしに精通しており、歴史に翻弄されながらも伝統的な生活用品や装飾品、武器など様々なものを作り、世に送り出してきました。

しかし、時代とともにこうしたものへの需要がなくなり、伝統的な皮なめしの製法は消えていきました。そして、職人たちは生活の糧を得るため、家を離れ、都市に単純労働者として出て行き、地域社会は崩壊していきました。

1980年代後半、かばんの製作が始まったことで、職人たちは村の中で家族と暮らしながら働けるようになり、また訓練を受けて収入を向上し、同時に自尊心を取り戻すことができるようになりました。伝統技術の復活が、村に将来への希望をもたらしたのです。

■ ■ ■ www.sisam.jp



伝統の職人技をよみがえらせた ラジャスタンレザーバッグ

■ ■ ■ What about Leather?

ラジャスタンレザーバッグはインド北西部の村で、伝統的な道具と地域で採れる天然の材料を使って、丹念に作られます。

職人たちは自然死した動物からのみ皮を集め、製品の部位や用途によって牛、バッファロー、ラクダ、ヤギの皮を使い分けています。それぞれの皮は、色、厚さ、きめが異なるにもかかわらず、完成した革は的確になめされ、耐久性に優れた製品に仕上げられています。

■ ■ ■ What about Producers?

300年以上の歴史を誇るインドのラジャスタンレザーは、ヒンズー教の最下層カーストに属する革職人によって作られてきました。

彼らは皮なめしに精通しており、歴史に翻弄されながらも伝統的な生活用品や装飾品、武器など様々なものを作り、世に送り出してきました。

しかし、時代とともにこうしたものへの需要がなくなり、伝統的な皮なめしの製法は消えていきました。そして、職人たちは生活の糧を得るため、家を離れ、都市に単純労働者として出て行き、地域社会は崩壊していきました。

1980年代後半、かばんの製作が始まったことで、職人たちは村の中で家族と暮らしながら働けるようになり、また訓練を受けて収入を向上し、同時に自尊心を取り戻すことができるようになりました。伝統技術の復活が、村に将来への希望をもたらしたのです。

■ ■ ■ www.sisam.jp

